

高P連だより  
vol.104  
2024

◆事務局◆  
名古屋市中区新栄一丁目49番10号  
愛知県教育会館6階  
TEL: (052) 261-5886  
FAX: (052) 241-7048  
【印刷】  
手島印刷株式会社  
TEL: (052) 522-1635

# PTAの皆様へ

愛知県知事 大村 秀章



愛知県公立  
高等学校PTA  
連合会の皆  
様には、日頃  
より、本県の  
教育活動の充実に格別のお力添  
えを賜り、深く御礼申し上げます。

教育の充実は、未来へ輝く「進  
化する愛知」を築くために重要で  
す。教育振興基本計画「あいちの  
教育ビジョン2025」では、自  
ら学びに向かう姿勢や、生涯にわ  
たってたくましく生きる力の育  
成を掲げ、特色ある教育を進めて  
おります。

高等学校では、「県立高等学校  
再編将来構想」に基づき、県立高  
校の一層の魅力化・特色化など、  
学びの変革を進めています。そ  
の中心は「中高一貫教育の導入」、  
「フレキシブルハイスクールの開  
設」、「夜間中学の開校」を3つで  
す。さらに、各学校においてはス  
クールポリシーに照らし各教科・  
科目や総合的な探究の時間にお  
ける探究活動の推進や地域等と  
連携した取組を推進するなど、生  
徒が主体的に学ぶことができる  
学校づくりを進めてまいります。

また、特別支援学校舎へのエレ  
ベーター整備や、熱中症対策のた  
め、特別支援学校は来年度、高等  
学校は2027年度までに体育  
館等への空調設備を整備するな  
ど、教育環境の充実に取り組んで  
おります。

今後も生徒の学力の伸長や豊  
かな人間性の育成のために、多様  
なニーズに対応し、様々な施策  
を進めてまいります。今後も御支  
援、御協力をよろしくお願いいた  
します。

# 子育ては「推し活」のススメ

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 鳥居 春美



皆様には、  
日頃より当連  
合会の活動に  
ご理解とご協  
力を賜り、感  
謝申し上げます。

さて、我が家の娘は、小学生の  
時にテレビで観たアイドルに一  
目惚れして以来、ずっと推し活を  
続けています。私もそんな娘の影  
響を多大に受けて、今は一緒に推  
し活をしています。そのため、あ  
りがたいことに娘の反抗期でも  
大きな争いもなく、常に共通の話  
題もあり、仲良く過ごすことがで  
きています。

推し活とは、自分にとって「推  
し」である人やキャラクターを応  
援する活動のことです。推し活の  
活動は幅広く、大きく分けて三つ

程の楽しみ方があります。

一つ目は、人生を豊かにして  
くれる楽しみであり、実生活での  
身体的、精神的な疲れを癒やして  
くれるものです。中には推しが存  
在するというだけで幸せな気分  
になり、落ち込んでも嫌なこと  
を乗り越えられたり、ストレスを  
軽減できたりする人もいます。ま  
た、仕事や勉強を頑張る原動力に  
もなり、日々の生活にハリが出ま  
す。

二つ目は、会える時に恥ずか  
しくないように、ダイエットやお  
しゃれを頑張ったり、推しに見  
合った自分になるよう言動に気  
をつけたりする動機にもなりま  
す。

そして最後の三つ目として、同  
じ趣味を持つ友達が増えるきつ  
かけにもなり、共通の話題で盛り  
上がって仲良くなることができ  
ます。

このように推し活について述  
べてみると、子育てによく似てい  
るように感じます。私は娘が存在  
してくるだけで幸せですし、娘  
は仕事を頑張る原動力にもなり  
ます。生まれてから今日までずつ  
と見ていても飽きないですし、娘  
の笑顔を見たくて行動したこと  
もたくさんあります。もちろん私  
のスマホのカメラロールの中に  
は、娘の写真がいっぱいありま  
す。そして、娘のことで家族と共  
通の話題で盛り上がります。すな  
わち、親にとって子供というの  
は最大の「推し」ではないでしょ  
うか？子育てにはいつか終わら  
が来て、娘が自分の「推し」でい  
てくれる時期も限られているか  
もしれません。そう考えると、手  
間もかかりお金もかかる子育て  
ですが「最大の推し活」と思って、  
楽しむべきなのだと思います。

## クロスワードパズル

の文字を並べ替えてできる  
言葉は？(答えになります)

1	2	3				
8						4
9			5			
				11		6
				7		12
10						

### タテのカギ

- ①戦いに勝利したときに上げる喜びの声。また、氣勢を上げる時の「エイエイオー」もこの意味で使われています。
- ②ジャマイカ発祥の音楽の一種。先駆者の一人として有名なのは故ボブ・マーリー。
- ③平安時代に菅原道真が流刑(今で言う人事異動・左遷?)された地。
- ④休業や健康維持を目的とした施設で、企業や保険組合・地方公共団体などが運営している。
- ⑤今までの勢いが衰退すること。または、沈みゆく太陽、入り日。
- ⑥山頂と山頂をつなぐ峰すじ。山稜・稜線とも言う。
- ⑦味噌カツの語源は、名古屋人は「○○とん」。古くは肉の練習場を指す。

### ヨコのカギ

- ①もう来年のモノは用意しましたか？水曜日から始まりますね。
- ②十返舎一九の代表作である「東海道中膝栗毛」は、○○さん喜多さんコンビの珍道中が人気を呼んだ。
- ③韓国の言葉で「鍋料理」という意味。○○鍋と良く聞きますが、「鍋」が重複しているのは私だけ？笑
- ④特にな古屋弁で「すごい」の意。「どえりゃあ」はあまり聞かなくなったが、「でら」と略して言う若者も多いようです。
- ⑤出身や縁故、利害などで結びついた人々が形成する排他的で非公式な小集団。色んな組織で良く聞かれます。
- ⑥エジプトの三大ピラミッド最大のもので、被葬者は○○○○というのが定説となっている。
- ⑦ポルトやナットなどと一緒に取扱いがされていることが多い。漢字では螺子・捻子・振子・螺旋と表記される。

### 応募方法

ハガキに答え・ご住所・ご氏名・所属PTA(任意で自由コメント)を明記のうえ、

〒466010007  
名古屋市中区新栄1-49-10  
愛知県教育会館6階  
愛知県公立高等学校PTA連合会  
までお送りください。

【締切：1月17日消印有効】  
正解者(多数の場合は抽選で10名様)には県立吉良高等学校の生徒がプロデュースした「吉良セット」(箱8個程度の焼き菓子詰め合わせ)を発送させていただきます。

## 知事への表敬訪問

大村知事、飯田教育長並びに教育委員会の皆様には、日頃から学校教育とPTA活動の充実のために御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

高P連では、7月1日に川端会長はじめ新三役の5名による、知事への表敬訪問を行いました。



ている活動などについて会長手作りのフリップを示しながらお話をさせていただきました。その中では、コロナ明けから再開し始めた活動等、昨今の学校の状況などをお伝えするとともに、県が取り組んでおられる魅力ある学校づくりに向けて、高P連や保護者の立場からも、御協力できればとお話ししました。

また、高P連が行う事業の一つ、「互いに学び、楽しくつなげるPTA活動」では、各校が実践している活動を広く募

集してきていますが、三河地域の豪雨災害を踏まえた防災への取組等、いくつかの事例を御紹介しました。そのほか、全会員に配布している広報紙「高P連だより」では、紙面に掲載の

## 予算要望活動

8月8日には、来年度の教育予算について、校長会・事務職員協会とともに、県教育委員会への要望を行いました。

魅力ある学校づくりや望ましい教育環境づくりへの一層の取組と、積極的な情報発信などについて十分な教育予算を確保していただくことをお願いしました。

学校教育の充実に向けた予算の拡充について、今後も会員の声を伝えてまいりますので、引き続き御協力のほどお願いいたします。

## 事務局だより

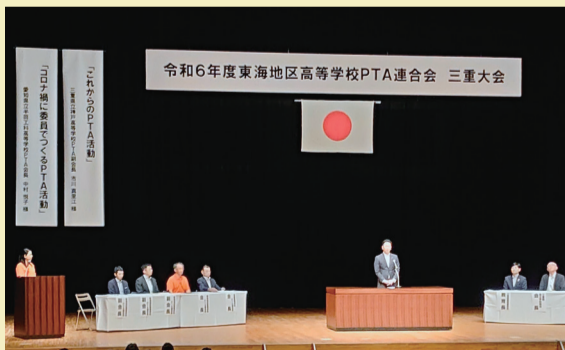
### 日本教育公務員弘済会奨励金

7月10日(水)、高P連理事会の開催に先立ち、弘済会愛知支部からの奨励金給付式を行いました。

優秀な活動実績を上げている高等学校5校(千種・犬山・東浦・岡崎工科・成章)の各PTAに対して、奨励金(5万円)が交付されました。

### 令和6年度東海大会報告

6月21日(金)、三重県文化会館大ホールにおいて、午前の総会と午後からの「三重大会」が開催されました。



各校PTAの活動発表が行われました。講演では、自身の周りや地球上の様々な出来事について、氏独自の視点から生き生きとした語り口で考え方を披露頂き、また、コロナ禍の工夫を凝らした2校のPTA活動など、多くの参加者の共感を呼び、大

### 健全育成委員会開催

高P連健全育成委員会を、9月18日(水)に開催しました。県警察本部少年課による「少年の非行の概況と県警の取組み」に関する講話のほか、委員の所属する5校における健全育成に関わる課題等について話し合われました。

### 来年度の第74回全国高等学校PTA連合会三重大会について

来年度大会は、静岡市の清水文化会館(令和7年6月27日)で予定されています。

期日 令和7年8月21日(木) 22日(金)  
会場 三重県津市産業スポーツセンター(サオリーナ) オンライン参加併用予定

愛知県立 内海高等学校 PTA

学校紹介

愛知県立 岩倉総合高等学校 PTA

昭和14年に町立愛知県立内海高等学校として開校して開校以来、幾多の変遷を経て、昭和32年に現在の愛知県立内海高等学校と改称しました。昭和49年には、現在の地に移転し、昭和55年には篠島、日間賀島にそれぞれ分校が誕生し、知多半島南部の産業・文化の根幹を支えてきました。

しかし、平成になり社会のグローバル化や情報化、少子高齢化の急速な進展により募集クラスの減少、また、日間賀・篠島校舎が閉校となり、一時は内海高校の存続が危ぶまれる状態になりました。



学校風景

内海高等学校は、尾張地区最南端の学校(知多半島の南知多町)であり、本年度で創立85周年を迎える伝統ある学校です。昭和14年に町立愛知県立内海高等学校として開校して開校以来、幾多の変遷を経て、昭和32年に現在の愛知県立内海高等学校と改称しました。昭和49年には、現在の地に移転し、昭和55年には篠島、日間賀島にそれぞれ分校が誕生し、知多半島南部の産業・文化の根幹を支えてきました。



文化祭 PTA バザー

本校PTAは、規模が小さく20名程度で活動しています。主な活動は文化祭への出店です。食品の模擬店をはじめ、ドリンク販売、制服や手芸品・農産物のバザーなどを行っています。

『こころの電話』

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

052-261-9671

令和5年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は635件で、全体の約23.5%でした。最も多い相談は、子どもの「性格や行動に関する相談」で180件あり、高校生の保護者からの相談の28.3%を占めます。この「性格や行動に関する相談」には、不登校の問題や発達

障害に関する内容も含まれていますが、二番目に多い相談は、子どもの「学校生活に関する相談」で141件・約22.2%です。三番目が「家族関係に関する相談」で69件・約10.9%です。多くの保護者が悩みを解消できる糸口を模索しております。

「健康・不安」「家族関係」で、高校生からの相談の約39.0%を占めます。やはり、「学校生活」の相談には、進路のこと、友人のこと、部活のことなど多くの要素があるからだと思います。

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。令和5年度は8,441件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。(ただし、年末年始は除きます。)

お知らせ
当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障がい」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ直接相談事業を実施しています。興味のある方は下記のホームページをご覧ください。



話が変わりますが、10月から郵便料金が値上げされ、ハガキを送るのにも85円(従来63円)かかることとなりました。この「高P連だより」自体も紙ベースで仕上げ、各校に配送するという「アナログ処理」で104号まで重ねて参りましたが、紙代や配送料金などが軒並み値上げラッシュとなる中、今後の在り方を見直す時期に来ているのかも知れません。(既定予算内での対応案は全くの白紙です。会員の皆様からの提案をお待ちしております。)
とりあえず、今回のクロスワードパズルに関しては、従来通りハガキでの御応募をお願いいたします。印刷済みの余った年賀状の余白でも必要事項の記入さえあれば受け付けますので、どうぞよろしく願います。



編集後記

先回のクロスワードパズルの御応募の中に、「前回の正解を載せて欲しい」旨のコメントを頂きました。誠に有難うございます。この件に関しては、当連合会のホームページに「高P連だより」のバックナンバーを掲載しておりますので、よろしければ、過去の問題や正解はそちらで御確認ください。勿論、それ以外の情報もありませんので、参考にして頂けると幸いです。

ファミリーシップ制度等の多様性理解の重要性

あいちの学び推進課

「愛知県人権尊重の社会づくり条例」(2022年4月1日施行)では、性的指向及び性自認の多様性についての理解の増進に必要な取組を推進するとしています。

この条例の理念である「多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくり」の実現に向けた取組として、「愛知県ファミリーシップ宣誓制度」を2024年4月1日から開始しました。この宣誓は、婚姻が難しいカップルやその子供たちが「家族」としての関係を認め合い、県にその関係を公式に証明してもらうことができるものです。法律婚とは異なり、法的な権利や義務は生じませんが、愛知県内での生活において家族として尊重されることが目的です。

学校においても、ファミリーシップ制度を含む様々な人権課題に対する理解が必要です。多様な家族形態や性別、性自認、障害の有無などに対する理解を深めることが求められます。今まで自分と異なると思っていた人が、お互いの存在を認め合うことで、互いの違いや共通点に気づき、今までもっていた視点を改め、差別を助長する誤解や偏見を減らすことができます。また、誰もが差別や偏見に苦しむことなく、人生が豊かになり、生きやすい社会を実現することができます。

このように、包摂的で平等な社会を築くためには、多様性を理解することが重要となります。

子供たちが多様性を認識し、自己を受け入れ、他者を尊重する姿勢を育むためには、学校は大切な学びの場の一つです。学校生活のあらゆる場面において、異なる価値観や考えを持つ人とともに過ごすことで、人権課題についての理解を深め、全ての人を尊重し、平等な機会をもつ社会を実現するための基盤を築くことができます。

また、保護者の皆様におかれましても、様々な人権課題について御理解いただき、学校と協力して多様性を尊重する教育を推進していただければと思います。子供たちが、自分自身と他者を理解し、共に支え合いながら成長するためには、学校だけでなく、保護者や地域等と一緒に取り組んでいくことが重要です。今後も、人権尊重の社会づくりに向けた取組を進めてまいります。

各校のPTAの皆様におかれましては、本課の事業への御理解と御協力をいただきますとともに、一人一人が学びを深め、社会全体で子供の教育を担っていくために、これからも多様な立場で子供や地域に関わっていただきますようお願い申し上げます。